

マンスリータイムズ

和歌山県立新宮高等学校
平成27年度(2015年)11月版

防災避難訓練

～ 大津波警報発令を想定し、屋上へ避難 ～

11月5日(木)に、大津波警報の発令を想定し、避難訓練を実施した。2011年に東日本大地震が起こり甚大な被害が出た上、当地方でも過去に南海大地震、東南海大地震で過去に大きな被害が出ており、再び起きる可能性も指摘されている。いつ起こるかわからない津波に対する職員、生徒の防災意識の向上を図ることを目的として、教職員の誘導のもと、全校生徒が校舎の屋上に避難し、担当教員らが安全確認を行なった。

先輩が先生講演会

～ 先輩に学ぶ! ～

11月9日(月)に、本校第24回卒業の経済学者 岡田章氏(京都大学教授)をお招きし、『先輩が先生』講演会を実施した。「自由と協調～ゲーム理論のメッセージ～」と題して、ご講演いただき、偉大な先輩からたくさんの知識を学び、刺激を受けた。



後期人権LHR

～ わかり合い、認め合うこと! ～

11月18日(水)のLHRの時間に、学年ごとのテーマにわかれ、後期の人権LHRを実施した。1年生では、『基本的人権と社会における差別問題』をテーマにして、差別や人権侵害の諸問題に気づき、それらの諸問題の解決を目指す意識を学び、2学年では、『障がいのある人の人権』をテーマに、聴覚障がい者の方の体験談や生活の様子についての講演を聞き、わかり合い、認め合うことの重要性を考えた。また、コミュニケーションの方法の一つとしてとして、手話を学習した。



3学年においては、『高校卒業を控えて』をテーマに校長講話が行なわれ、3年間の人権学習の振り返りとともに、基本的人権の尊重、学びの意義、協調の原理について講話し、『みんなが幸せになるには・・・』を追求できる青年になることを呼びかけた。



1学年 防災スクール

～ 世代を超えて、共に! ～

11月20日(金)に、1学年が『防災スクール』を実施した。本校では、総合的な学習の時間の全校テーマを「共生～国際社会のリーダーとして～」と設定し、さらに学年ごとにテーマに沿った学習を進めている。1学年においては、地域を知り、地域に貢献する人材となることをテーマに活動しており、その一環として地域の防災に関する学びに取り組んでいる。今回、防災意識の向上、正しい知識の習得とともに、世代を超えて交流し、互いに防災意識や知識を深めることを目的として、地域の方にも参加して頂き、防災の知識を伝え合った。



薬物乱用防止講演

～ 誘惑に負けない意志を! ～

11月25日(水)のLHRの時間に、大阪税関和歌山税関支署新宮出張所 財務事務官 井本 雄一氏、財務事務官 野口 剛氏をお招きして、1学年を対象に、薬物に対する正しい知識と危険性についての講演会を実施した。この講演は、薬物乱用による心身への影響や依存症、疾病との関連などについての理解を深めるために、毎年実施している。生徒たちは危険ドラッグや薬物の害をしっかりと学び、決して誘惑に乘らないという強い意志を持つことが大事であると再認識した。



『スペイン・ガルシア州』を紹介

～ 青少年代表団派遣 後輩へ体験談を語る! ～

和歌山県文化国際課による「スペインガリシア州」への青少年代表団派遣に、昨年度参加した小谷有加さん(2-6)が、本年度参加希望生(6名)に対して、世界遺産「サンティアゴへの道」「サンティアゴ・デ・コンポステーラ旧市街・大聖堂」視察、ガリシア州政府表敬訪問、青少年との交流、ホームステイによる現地生活文化体験等を写真や資料を提示しながら熱く語った。